

道場でのルール

2015/05/01

射場でのルール

- ・射場での飲食は禁止
- ・射場で膝を立ててはいけない、寝そべらない
- ・巻き藁の脇を歩いて男子更衣室に行く際は、射手が打ち起こす以前に通る
- ・弓に輪ゴムを付けたまま弓を引かない
- ・弓を張る時は素手で張る

服装についてのルール

- ・ズボンは膝下のもの、上着は半袖より長いものを着用する
- ・素足、タイツで射場に入ってはいけない
- ・弓を引く時は装飾品（ネックレス、腕時計、ピアス等）や、マスクを外す
- ・女子の格好・・・ヘアゴムを付けるなら黒、紺、茶色のものを付ける
 - ・ピンは払わない位置に付ける
- ・矢取りの際は上着を脱ぎ（部のウィンドブレーカーは○）、胸当て、かけを外して行く
- ・澄ましの際は上着を脱いで、弓を引ける格好

危険防止におけるルール

- ・巻き藁で矢を番えている人がいたら射手と巻き藁の間を歩いてはいけない
- ・矢道に行く場合は射場で取り懸けている人がいないことを確認し、手を叩いてから行く
- ・取り懸けている人がいたら本座より前に入ってはいけない
- ・行射中は看的小屋寄りの矢道横には入らない
- ・巻き藁場で、前後の人が引いている間は自分の巻き藁矢を抜きに行ってはならない

その他

- ・靴箱に入れられる自分の靴は一つだけ→二つ目以降は自分のロッカーに入れる
- ・道場に来た（玄関に着いた）際、帰る際は元気に挨拶をする
- ・矢取りの際は芝には入らずに矢取り道を通るようにする
- ・練習に遅刻する場合は集合時間の10分前までに主将に連絡する
- ・練習時間は携帯はマナーモードに設定しておき、使わない
- ・練習時間に食べ物を口にしない、本を読まない
- ・澄ましを行っている時に道場に来た場合は、荷物を置いて上着を脱ぎ、玄関（射場の手前）で途中から澄ましをする
- ・練習が終わるまでは弓をたたまない
- ・矢を持ったまま走らない
- ・かけを付ける時は正座、または跪坐をした状態で付ける